



平成18年3月期
会社説明資料



平成18年7月
滝沢ハム株式会社
(ジャスダック・2293)



会社のプロフィール

平成18年3月31日現在

- 商号 滝沢ハム株式会社
- 本店 栃木県栃木市泉川町556番地
- 代表者 代表取締役社長 瀧澤 太郎
- 設立 昭和25年12月
- 資本金 10億8,050万円
- 売上高 320億1,459万円（連結）
- 従業員 500名（連結）



会社の沿革

- 昭和25年12月 会社設立（株滝沢武商店） 本店東京都千代田区
- 昭和39年12月 宮城県仙台市に仙台工場を新設
- 昭和41年 3月 商号を滝沢ハム株式会社に変更
- 昭和47年 2月 栃木県栃木市に泉川工場を新設
- 昭和51年10月 オランダで開催の国際食肉ハムオリンピックで金メダル受賞
- 昭和58年 5月 栃木本社事務所を栃木県栃木市祝町から栃木市泉川町に移転
- 昭和58年 5月 栃木県栃木市に手造り工場「チェリースモークハウス」を新設
- 昭和60年10月 栃木市に泉川ミートセンターを新設
- 昭和61年 4月 栃木県宇都宮市に大谷天然熟成プラントを新設、イタリア式生ハムを製造開始
- 平成 2年11月 日本証券業協会に店頭登録（現ジャスダック証券取引所）
- 平成 6年11月 栃木県栃木市に泉川物流センターを新設
- 平成11年10月 栃木県下都賀郡大平町にデリカ工場を新設
- 平成14年 9月 手造り工場を生ハム専門工場に改築しチェリースモーク工場に名称を変更
- 平成16年 4月 宮城県角田市に仙南みらい工房ビッセン（仙南工場）を新設
- 平成17年 1月 本店所在地を栃木県栃木市に移転



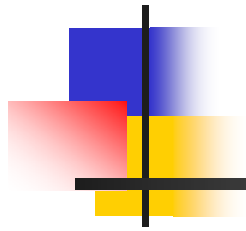
事業内容

- 当社グループは、食肉加工品（ハム・ソーセージ）、惣菜商品及び食肉製品の製造、販売を主な事業としております。

- 連結子会社

（会社名）	（資本金）	（事業内容）
株式会社テルマンフーズ	60百万円	食肉及び食肉加工品の製造販売
株式会社ワールドフードサービス	20百万円	飲食業
株式会社泉川運輸	20百万円	運送業
株式会社菖蒲フーズ	20百万円	食肉及び食肉加工品の製造販売
栃木シー・エス株式会社	10百万円	畜産物加工処理請負
六合ハム販売株式会社	10百万円	食肉加工品の販売

平成18年3月期 決算概要



滝沢ハム株式会社



平成18年3月期の総括

- 当連結会計年度は、輸入解禁となった米国産牛肉が再度の輸入停止になったことやハム・ソーセージ等の食肉加工品の主要原料である輸入豚肉価格の上昇、原油価格高騰に伴う包装資材等の価格上昇等が重なり、業界を取り巻く環境は大変厳しい状況が続きました。
- 当社グループは、原料高等によるコスト増の対策として、販売の効率化、不採算商品の統廃合、生産のライン化等を行い、コスト削減を推進してまいりました。また、食肉部門については、国内牛肉、豚肉のブランド化に努め、この部門の販売促進を行いました。
- この結果、当連結会計年度の売上高は320億14百万円(前期比0.8%増)となりました。損益面につきましては、原料高により売上総利益率が悪化しましたが、製造コストの削減に努めた結果、経常利益は、1億29百万円(前期比6.3%増)となり、当期純利益は、固定資産の減損損失計上等の要因もあり、22百万円(前期比108.1%増)となりました。

損益計算書(連結)

(単位:百万円)

	18年3月期	17年3月期	前期比	備考
売上高	32,014	31,771	243	
売上原価	26,845	26,575	270	原材料1.6%アップ
販売費及び一般管理費	4,995	4,996	-1	
営業利益	173	199	-26	
営業外収益	69	40	29	
営業外費用	112	117	-5	
経常利益	129	122	7	
特別利益	88	80	8	投資有価証券売却益50百万円・貸倒引当金戻入益29百万円
特別損失	64	86	-22	固定資産売却益23百万円・減損損失39百万円
当期純利益	22	11	11	

貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

	18年3月期	17年3月期	前期比	備考
流動資産	6,223	5,868	355	売掛金 + 210百万円
固定資産	7,049	6,420	629	土地 + 496百万円
資産合計	13,275	12,294	981	
流動負債	6,609	5,998	611	短期借入金 + 475百万円
固定負債	2,692	2,417	275	長期未払金 + 440百万円
負債合計	9,301	8,415	886	
資本金	1,080	1,080	0	
資本剰余金	765	765	0	
利益剰余金	1,933	1,941	-8	
資本合計	3,973	3,878	95	

キャッシュ・フロー計算書(連結)

(単位:百万円)	18年3月期	17年3月期	比較増減	備考
営業活動による キャッシュ・フロー	355	559	-204	減価償却費287百万円、売上債権-217百万円 棚卸資産の増加額51百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	-485	-469	-16	有形固定資産の取得-291百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	241	-273	514	短期借入金の増加+450百万円 長期借入金の増加+250百万円
現金及び現金同等物の 増加額	110	-183	293	
現金及び現金同等物の 期首残高	1,075	1,258	-183	
現金及び現金同等物の 期末残高	1,186	1,075	111	

部門別売上高

(単位:百万円)

事業部門	18年3月期		17年3月期		比較増減	
	売上高	構成比	売上高	構成比	金額	増減率
食肉加工品	10,900	34.0%	10,883	34.3%	17	-0.3%
惣菜その他	4,276	13.4%	4,495	14.1%	-219	-0.7%
食肉	16,619	51.9%	16,159	50.9%	460	1.0%
その他	219	0.7%	234	0.7%	-15	0.0%
合計	32,014	100.0%	31,771	100.0%	243	0.0%

食肉加工品
惣菜その他
食 肉
そ の 他

ハム・ソーセージ、ローストビーフの売上高増加
味噌漬け商品、ハンバーグ等の売上高減少
国産ブランド豚の販売強化により増加
運送事業の売上高減少



平成19年3月期 業績予想



滝沢ハム株式会社



平成19年3月期 業績予想(連結)

(単位:百万円)	19年3月期予想	18年3月期実績	増減	備考
売上高	33,100	32,014	1,086	
経常利益	245	129	116	
当期純利益	80	22	58	
EPS(円)	7.87	2.23	5.64	
ROE(%)	2.0	0.6	1.4	

EPS = 1株当たり当期純利益

ROE = 株主資本利益率

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により、記載の業績予想と異なる結果になる場合があります。

経営方針と今後の取り組み

経営方針

「より良い食品を通じて食文化の向上と健康増進に貢献する。」を経営理念としております。お客様に対し、安全、安心で、よりおいしい商品を常に提供し続けてまいります。

今期の取り組み

1. 価格競争力の強化
(新商品開発、不採算商品の統廃合、製造コストの削減)
2. 販売部門の効率化
3. 国産牛肉、豚肉のブランド力強化
4. 不採算部門の統廃合
5. 福留ハム(株)との業務提携の推進

新商品発売のご案内

(平成17年度)

二段挽仕上ホ'ロニアソーセージ



昔ながらのプレスハム



毎朝食卓あらびきホ'クインナー



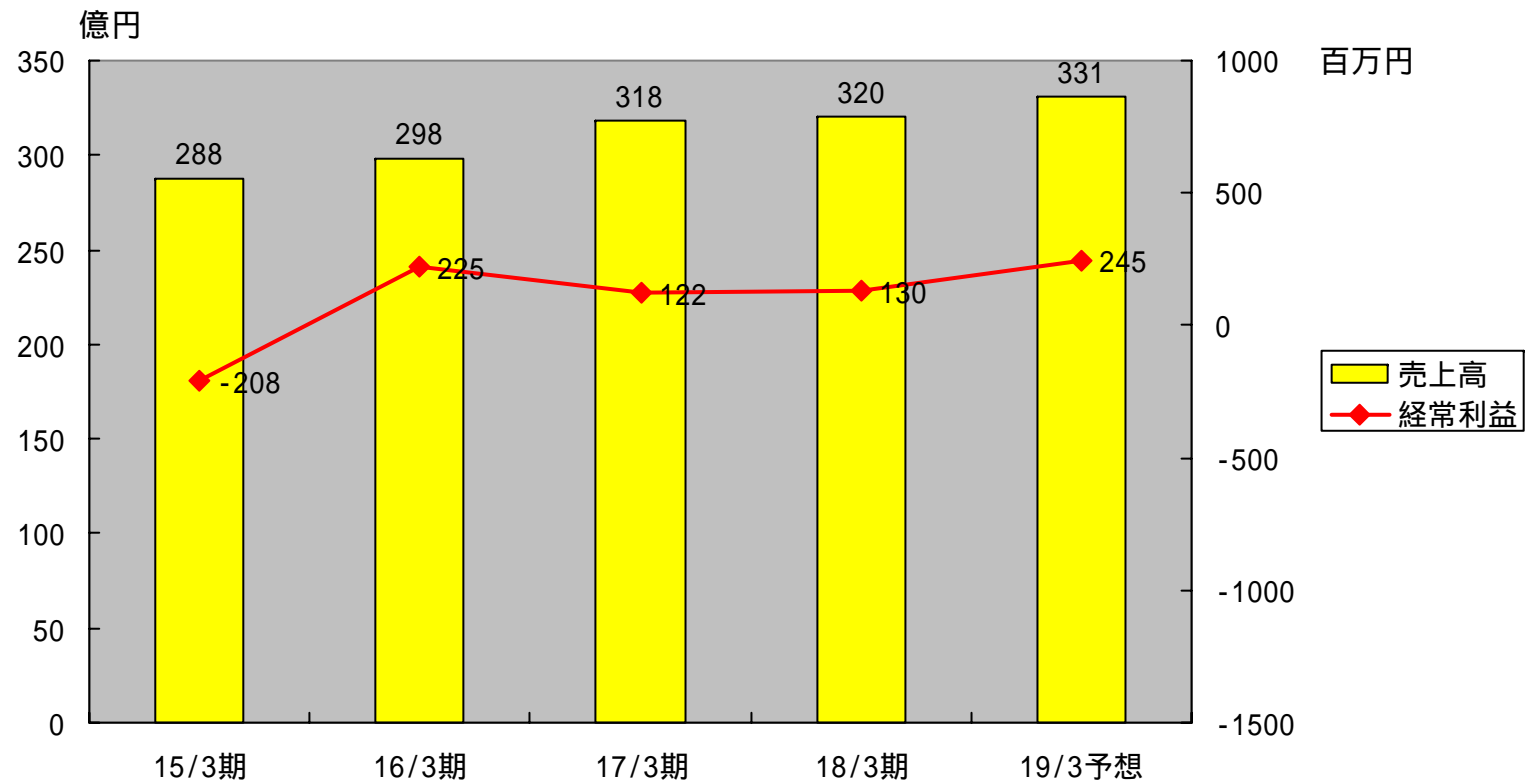
たまらんごちそう焼豚スライス



たまらんごちそう焼豚ブロック



売上高、経常利益の推移(連結)





本資料に関するお問い合わせ

- 滝沢ハム株式会社
- 管理本部 企画室
- TEL : 0282-23-5640
- E-mail: tk4903@takizawaham.co.jp